



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和6年 7月 1日

第 4 号

さいたま市立日進中学校

TEL 048-663-1251

FAX 048-663-0834

『日進最強伝説』

校長 小熊 誠

1・2・3年、日進全てで臨むことができる唯一の大会、学校総合体育大会が6月1日(土)から開催されました。5月27日(月)の壮行会での各部長の熱い思いと決意。そして、大きな声の返事とあいさつ、魂のこもった応援を「魔法の呪文」として、競技だけでなく、何かで1番を目指し、さいたま市に日進の誇りを刻んでこようと挑んだ大会。燃えました。日進の生徒たちは、素晴らしい活躍を繰り広げてくれました。まずは、競技です。水泳と陸上(通信陸上は終了)、そして文化部のコンクールはこれから勝負を迎えますが、現時点での結果です。団体競技では、野球・男女卓球・男女バドミントン・男女柔道・女子陸上のリレーの8団体。個人種目では、男女卓球・男女バドミントン・女子柔道・女子新体操・男女陸上の8種目で、県大会出場を決めました。素晴らしいです。こんなにたくさんの部活、生徒たちが県大会に進む学校はありません。日進の誇りと自慢がまた一つ刻まれました。これに先駆けて、6月7日(金)8日(土)に開催された通信陸上の県大会において、女子走り幅跳びで優勝し、全国大会出場を決めた3年生女子もいます。輝いていました。この結果を弾みにして、7月中旬から本格的に始まる県大会では、日進のさらなる活躍を楽しみにしています。保護者・地域の皆様、どうぞ御期待ください。そして、日進の生徒たちは、約束通り競技以外でも1番を目指し、輝いてくれました。各会場での魂のこもった応援はもちろん、返事あいさつ、私たちを迎えてくれる溢れる笑顔、最強でした。そして、特に最強を感じたのは、卓球部。競技終了後、1番に会場のモップがけを始めました。その姿が、まったく自然で、会場全体が日進の出番のように捉えていました。流石、10年連続関東大会出場チーム。日々のこうした「陰徳」が、王者の貫禄と風格を醸し出していると実感しました。最強日進、さらなる前進が続きます。



また、6月22日(日)からは、3年が修学旅行に行ってきました。スローガンの「和」に込められた3年の思いのいっぱい詰まった3日間となりました。最終日の夜の盛り上がり、京都の平和を守った「日進レンジャー」、皆で奏でた「水平線」最強でした。何と「校長先生いつもありがとうございます」と私にお土産を買ってきてくれた班や個人もいました。こんな素晴らしい経験初めてでした。そして朝の放送委員の放送。1日の始まりに和やかな空気と元気を与えてくれました。3年の「和」の心を、温かみを感じました。日進の「顔」最強です。

そして、そんな日進に地域の方からの1通のハガキが届きました。個人情報伏せさせていただき紹介します。右の文面を御覧ください。サッカー部3年2名と陸上部2年2名が、地域の方と協力して踏切付近で転倒した男性を救助してくれました。自転車で倒れた方に躊躇せずとっさに近寄る姿勢本当に素晴らしいです。しかもこの4人は、始めから一緒だったわけではありません。2年が最初に動き、3年が自然にフォローしました。阿吽の呼吸のナイス連携プレーです。以前のAEDでの救助のように、日進の生徒たちは、当たり前に行動することができます。私は、こんな日進の生徒たちが心から自慢です。

保護者・地域の皆様、今後も日進の生徒たちのあらゆる場面での活動・輝きにどうぞ御注目ください。「日進最強伝説」ますます続きます。

拝啓

この度、貴校の生徒さんたちの親切な行いに感動しましたのでお伝えさせて頂きたいと思いました。

今月10日夕方、日進駅の踏切手前で年配の男性の方が、自転車で渡ろうとされた時に、転倒され起き上がれずにいるところを、生徒さん達が4人で男性を起こしてあげていました。

その途中からお見かけし近づいてお声がけしました。怪我もされていたので救急車を私共で呼びました。男性は、元々体調もよくなかったようで、立ち上がってもしかり立てずにはいましたが、1人の生徒さんが男性の腕を組んで支えてあげていました。救急車が来て、警察の方たちも来て下さり、後はバトンタッチすることができました。

困った人を、すぐに助けてあげることは大切ですが、今は大人でもなかなか難しい中で、少年達の親切な手助けに、私達も勇気や爽やかさを頂きました。このことを、是非とも親御さんや先生方にお伝えし、褒めてあげて頂きたい思いました。そして、これからも正しいことを行っていく大人に成長して欲しいと願い一筆差し上げた次第です。

生徒さん達は、陸上部、サッカー部で、帰宅中でした。地域の子供達の育成に携わってくださっていることに感謝申し上げます。

敬具

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校